

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報					令和	8	年度
事業番号	40		事業名	移住定住推進事業			
担当課	企画課		担当係	地域戦略室	担当者	山田 健吾	
総合計画に最も関連ある施策	施策	5	産業と人がつながるまちづくり(産業・観光・雇用)		連絡先	0858-76-0212	
	施策体系	4	交流の推進と関係人口の拡大		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	
	主な事業	移住定住の推進(官民連携による移住相談体制の充実・ポータルサイトやSNSによる魅力発信の強化等)				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 町外在住者のうち、主に地方移住や二地域居住を検討している者。また、町内在住者。						
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 転入者の増加及び転出者の減少(転入者の定着)を図るため。						
事業の内容・手段	事業の規模や業務量など、また、どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 移住定住相談窓口の開設、PR活動(イベントへの参加及びポータルサイト・SNS等)、空き家バンク制度の運営及び空き家改修・住宅リフォーム助成等による居住支援、移住体験施設「おためし住宅」の運営等により、移住定住推進を図る。また、民間団体や県・近隣市町との連携により、これらの取組や相談体制の強化を図る。						
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 社会減(転入数<転出数)の緩和						
根拠法令等	4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	各補助金交付要綱、八頭町空き家バンク実施要綱	

3 取組状況

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度より移住定住センター及び空き家バンク制度の運営等を一般社団法人Yearning for Yazu Project(八頭町日下部)へ委託。官民連携による柔軟な相談対応により、令和6年度空き家バンク新規登録件数は、37件と、過去4年間の平均値の約3.9倍に増加した。令和7年度も30件を超えるペースで登録されており、登録件数の増加に併せて、相談件数・成約件数ともに増加傾向にある。 ・令和6年の社会増減数は、△57人と、過去5年間で最小の減少数となっている。 ・物件情報を公開したくない空き家所有者へアプローチを図るため、令和7年度に「さかさま不動産 八頭支局」(※)を開設。支局の活用により、未流通空き家の掘り起こしを促進する。※さかさま不動産とは、空き家を借りたい人の想いをウェブサイト公開し、その想いに共感した所有者が借り手を選ぶ不動産マッチングサービス ・令和8年度より「地域の空き家を活用したまちづくり推進事業補助金」を新設。地域のまちづくり団体や自治会等が実施する空き家の勉強会やワークショップの開催を支援し、地域における空き家利活用の機運醸成を図る。 						
------	---	--	--	--	--	--	--

4 コスト

区分	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度
		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
トータルコスト	千円	24,050	22,445	35,784	0	35,764	0	35,764
担当職員数	人	0.4	0.4	0.4	0	0.4	0	0.4
職員人件費	千円	3,200	3,200	3,200	0	3,200	0	3,200
事業費	千円	20,850	19,245	32,584	0	32,564	0	32,564
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円	0	352	0	0	0	0
	県支出金(交付金・補助金)	千円	9,294	6,902	7,150	0	6,400	0
	地方債(借入金)	千円	0	0	0	0	0	0
	事業収入(使用料・参加費等)	千円	137	139	150	0	150	0
	一般財源(単町費)	千円	11,419	11,852	25,284	0	26,014	0

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報					令和	8	年度
事業番号	782		事業名	ふるさと納税促進事業			
担当課	企画課		担当係	地域戦略室	担当者	西川 真人	
総合計画に最も関連ある施策	施策	5	産業と人がつながるまちづくり(産業・観光・雇用)		連絡先	0858-76-0212	
	施策体系	4	交流の推進と関係人口の拡大		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	
	主な事業	ふるさと納税者の拡大に向けた情報発信、返礼品開発				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 ふるさと納税寄附者(八頭町に縁のある者、八頭町の特産品に魅力を感じている者)、返礼品取扱事業者						
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 ふるさと納税制度を通じて八頭町の支援者及び寄附金額の増加を図る。						
事業の内容・手段	事業の規模や業務量など、また、どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 委託事業者、各事業者と連携し返礼品開発を行い、返礼品とともに八頭町の魅力をパンフレット、八頭町公式サイト、ふるさと納税ポータルサイトにより情報発信する。						
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 寄附金を財源としたふるさと活性化基金を運用することによって、住民との協働のまちづくりを進める。						
根拠法令等	3・4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	ふるさと活性化基金設置条例、同施行規則	

3 取組状況

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税ポータルサイトの運営、寄附者への返礼品配送業務等を民間事業者および八頭町観光協会へ委託、民間のノウハウを活用しながら返礼品取扱事業者、取扱返礼品の拡充、ポータルサイトのブラッシュアップを進めている。 ・平成30年以降、寄附額は毎年増加しており、令和7年度は制度改定により多くの自治体が寄附額を低下させる中、増額を達成する見込み。 ・令和6年度実績394,492千円。 ・令和8年度は引き続き返礼品取扱事業者、取扱返礼品の拡充を図るとともに、ポータルサイトのブラッシュアップ、メールマガジン配信などのリピーター対策の強化をより一層推進していく。 						
------	---	--	--	--	--	--	--

4 コスト

区分	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度
		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
トータルコスト	千円	162,220	167,845	126,181	0	128,827	0	128,827
担当職員数	人	0.4	0.4	0.4	0	0.4	0	0.4
職員人件費	千円	3,200	3,200	3,200	0	3,200	0	3,200
事業費	千円	159,020	164,645	122,981	0	125,627	0	125,627
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円						
	県支出金(交付金・補助金)	千円						
	地方債(借入金)	千円						
	事業収入(使用料・参加費等)	千円						
	一般財源(単町費)	千円	159,020	164,645	122,981	0	125,627	0

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報					令和	8	年度
事業番号	188	事業名		放課後児童クラブ運営費			
担当課	学校教育課	担当係	学校教育係	担当者	小谷 貴恵		
総合計画に最も関連ある施策	施策	2	やすらぎといきがいのあるまちづくり		連絡先	0858-84-1231	
	施策体系	4	子育て支援の充実		事業区分	<input type="checkbox"/> 新規	
	主な事業	放課後児童クラブ運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 継続			

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 子育てをする保護者とその子ども						
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 子どもを安心して産み、育てやすい環境づくりを推進するため、放課後児童クラブの充実を図る。						
事業の内容・手段	事業の規模や業務量など、また、どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 民間の活力を導入することにより、子どもの健全育成に関する専門的な知識と経験やノウハウを取り入れ、支援員の労務管理や人材の確保・養成力を徹底し、安定した運営と子どもと保護者のニーズに対応したサービスの提供を行う。						
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 子育て支援の質の改善と向上、量の拡充を進め、安心した子育て環境の提供と支援体制を確立する。						
根拠法令等	1,3,4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	児童福祉法、放課後児童クラブ施設条例・施行規則	

3 取組状況

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な活動 仕事等で保護者が昼間家庭にいない小学生を対象にした放課後児童クラブを町内4施設(7支援)において、放課後の時間帯に実施し、適切な遊びや安心して過ごせる生活の場を提供している。H31年度から民間業者へ運営委託している。 ・昨年度実績値 R7年度利用児童数 通年 228名(中途入退会者含む) 夏季 19名 ・前年度との比較・変更点 R7年度はわんぱく児童クラブが定員超過だったため、4月～9月末まで小学校の家庭科室も借りて実施し、10月以降は退会による人数減や児童も落ち着いてきたため通常どおり2支援で実施した。 						
------	---	--	--	--	--	--	--

4 コスト

区分	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度	
		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
トータルコスト	千円	101,416	35,457	42,665	0	41,907	0	41,907	
担当職員数	人	0.4	0.4	0.4	0	0.4	0	0.4	
職員人件費	千円	3,200	3,200	3,200	0	3,200	0	3,200	
事業費	千円	98,216	32,257	39,465	0	38,707	0	38,707	
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円	27,030	10,533	11,741	0	12,264	0	12,264
	県支出金(交付金・補助金)	千円	27,030	10,533	11,741	0	12,264	0	12,264
	地方債(借入金)	千円	26,000						
	事業収入(使用料・参加費等)	千円							
	一般財源(単町費)	千円	18,156	11,191	15,983	0	14,179	0	14,179

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報					令和	8	年度
事業番号	925		事業名	地域おこし協力隊等事業			
担当課	産業観光課		担当係	商工観光室	担当者	田淵 将也	
総合計画に最も関連ある施策	施策	5	活力ある産業づくり			連絡先	0858-72-0144
	施策体系	1	農林水産業の振興			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規
	主な事業	農業等を通じた地域活性化			<input checked="" type="checkbox"/> 継続		

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 地域おこし協力隊員、地域住民及び地域・集落						
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 地域の振興及び活性化を図るとともに、地域おこし協力隊員の定住・定着を目標とする。						
事業の内容・手段	事業の規模や業務量など、また、どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 都市部等の人材を地域おこし協力隊員等として委嘱し、地域の課題・実情と隊員の活動目標のマッチングを図ったうえで各地域集落に居住しながら、その地域の課題解決や活性化に繋がる活動を行う。また、地域プロジェクトマネージャーが関係者間の橋渡し役などにより、重要プロジェクト等の効果的マネジメントを行う。						
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 地域、集落等の活性化(町の魅力発信や特産品開発、過疎集落を元気にする取組等を行い、地域に賑わいや活力を創出する。)や、隊員が任期満了後に引き続き八頭町に定住・定着できるよう、隊員の任期中から自らの起業や就業を見据えた活動を併せて行う。						
根拠法令等	4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	地域おこし協力隊推進要綱	

3 取組状況

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町の魅力発信や地域活性化、果樹農家の後継者育成等の地域課題解決のため、都市部等の人材を地域おこし協力隊として委嘱し各地域に居住しながら地域活性化の活動に従事。また町民で作るローカルメディアプロジェクトに係る関係者間の橋渡し役人材として地域プロジェクトマネージャーを委嘱、プロジェクト推進のマネジメントに従事。 ・令和7年度は新規隊員を3名(宮崎・谷内口・石黒)採用し、継続任用(小宮・岡田・杉川・渡辺)と合わせた7名体制で地域おこし協力隊を運用。また地域プロジェクトマネージャーとして、協力隊OBを1名(中村)採用。 ・小宮隊員はR7.10月で卒業し町内で環境保全に関する法人設立、岡田隊員もR8.3月で卒業見込みで卒業後は町内での起業を予定している。 ・令和7年度より各隊員との個別定期面談を開始。移住や活動に際しての困りごとや悩みなどを定期的にヒアリングすることで、地域への定着やトラブルの早期対応、活動の円滑化を図ることができた。令和8年度以降も取り組みを継続することで隊員の定着に繋げる。 						
------	--	--	--	--	--	--	--

4 コスト

区分	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度
		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
トータルコスト	千円	32,066	36,672	56,554		54,278		54,278
担当職員数	人	0.3	0.7	0.6		0.6		0.6
職員人件費	千円	2,400	5,600	4,800		4,800		4,800
事業費	千円	29,666	31,072	51,754		49,478		49,478
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円						
	県支出金(交付金・補助金)	千円						
	地方債(借入金)	千円						
	事業収入(使用料・参加費等)	千円						
	一般財源(単町費)	千円	29,666	31,072	51,754		49,478	

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報					令和	8	年度
事業番号	304		事業名	野生鳥獣被害防止事業費			
担当課	産業観光課		担当係	林業水産係	担当者	鎌谷 康平	
総合計画に最も関連ある施策	施策	5	活力ある産業づくり			連絡先	0858-76-0208
	施策体系	1	農林水産業の振興			事業区分	<input type="checkbox"/> 新規
	主な事業	有害鳥獣の被害防止対策を推進、生産農家の保護					<input checked="" type="checkbox"/> 継続

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 農林水産業等の従事者、町民					
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 イノシシやシカ等による有害鳥獣からの農作物等の被害防止及び有害鳥獣の捕獲					
事業の内容・手段	事業の規模や業務量など、また、どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 農作物等を有害鳥獣の被害から守るため、侵入防止柵(ワイヤーメッシュ柵、電気柵等)の設置や鳥獣の捕獲を推進する。 ①侵入防止柵の設置推進 小規模範囲の設置ではなく、広域的な範囲の設置促進を行う。 ②鳥獣の捕獲 猟友会と捕獲に係る委託契約を行うとともに、各集落の農事実行組合に対して捕獲檻の貸出しを行い、捕獲率の向上に努める。 ③担い手の確保と育成 捕獲従事者(猟友会会員)の確保及び会員の加入促進を行う。					
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 有害鳥獣(イノシシ及びシカ)による農林作物等の被害軽減を図る。					
根拠法令等	4	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	八頭町農林水産業間接補助事業補助金交付要綱 八頭町鳥獣に強いまちづくり支援事業補助金交付要綱 八頭町有害鳥獣捕獲奨励金交付要綱

3 取組状況

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・侵入防止柵(ワイヤーメッシュ柵、電気柵等)の設置を行い、有害鳥獣が農地への侵入を防いでいる。 また、侵入防止柵の周りに捕獲檻を設置し、捕獲率の向上に努めている。 ・猟友会と捕獲に係る委託契約を行い、また奨励金を支払うことにより、捕獲者の意欲向上につなげている。 ・捕獲と侵入防止の両方に力を入れているが、整備が行き届いていない地域があるため、今後も継続していく。 					
------	---	--	--	--	--	--

4 コスト

区分	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度
		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標
トータルコスト	千円	70,891	68,905	73,725		81,221		82,000
担当職員数	人	2.0	2.0	2.0		2.0		2.0
職員人件費	千円	16,000	16,000	16,000		16,000		16,000
事業費	千円	54,891	52,905	57,725		65,221		66,000
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円						
	県支出金(交付金・補助金)	千円	29,037	29,071	31,567		35,554	36,000
	地方債(借入金)	千円						
	事業収入(使用料・参加費等)	千円						
一般財源(単町費)	千円	25,854	23,834	26,158		29,667		30,000

事務事業計画書兼評価表(A表)

1 事務事業に関する基本情報					令和	8	年度
事業番号	334		事業名	除雪対策費			
担当課	建設課		担当係	管理係		担当者	白岩雄一郎
総合計画に最も 関連ある施策	施策	3	安全安心で暮らしを支えるまちづくり			連絡先	
	施策体系	(2)	道路・交通環境の充実			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規
	主な事業	①道路網の整備			<input type="checkbox"/> 継続		

2 事務事業の概要

事業の対象	誰(何)に対してこの事業を行うのか記載。 町民					
事業の目的	誰(何)をどうするためにこの事業を行うのか記載。 冬期間における町道の通行を確保し、町民の生活と安全に寄与することを目的とする。					
事業の内容・手段	事業の規模や業務量など、また、どういう方法、手順で事業を進めるのか、具体的に記載。 12月1日から3月20日の間、車両、通行者の安全を確保するため、道路の利用状況に応じて、原則、積雪が概ね車道10cm歩道20cmと見込まれる場合に除雪を行う。また消雪施設の計画的な改修を行う。					
事業の成果到達点	どんな成果を得たいのか、または、何がどうなれば達成か、具体的に記載。 冬期間における町道の通行の確保。					
根拠法令等	1	1. 法令(義務) 2. 法令(任意) 3. 条例 4. 規則・要綱等 5. なし			法令等名→	道路法

3 取組状況

取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪路線数290路線、延長124.7kmの除雪を実施(令和7年1月現在) ・消雪施設の改修を実施(大坪延命寺線) 					
------	--	--	--	--	--	--

4 コスト

区分	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度		R9年度	
		実績	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
トータルコスト	千円	53,680	116,538	92,363	0	98,535	0	98,535	
担当職員数	人	1.5	1.5	1.5	0	1.5	0	1.5	
職員人件費	千円	12,000	12,000	12,000	0	12,000	0	12,000	
事業費	千円	41,680	104,538	80,363	0	86,535	0	86,535	
事業費財源内訳	国庫支出金(交付金・補助金)	千円	1,847	15,647	18,000	0	18,000	0	18,000
	県支出金(交付金・補助金)	千円	898	516	800	0	800	0	800
	地方債(借入金)	千円	0	7,800	12,000	0	12,000	0	12,000
	事業収入(使用料・参加費等)	千円	1,744	7,259	5,478	0	7,218	0	7,218
一般財源(単町費)	千円	37,191	73,316	44,085	0	48,517	0	48,517	